News Release

PeptiDream

各　　位

平成 28 年 12 月 26 日
ペプチドリーム株式会社
http://www.peptidream.com/
（証券コード：4587　東証第一部）

スイス・ノバルティス社との共同研究開発プロジェクトに係るマイルストーン達成のお知らせ

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：窪田 規一、本社：東京都目黒区、東証一部）とスイス・ノバルティス社（以下「ノバルティス」といいます。）との間で、平成25年３月に延長された創薬共同研究開発プロジェクト（ターゲットは未公開）において見出された特殊環状ペプチドが、あらかじめ設定していたクライテリア（共同研究開発先とそれぞれ合意している生物活性及び物性等の基準の総称）を満たし、マイルストーンフィーを受け取ることになりましたので、お知らせいたします。

このたびクライテリアを満たした特殊環状ペプチドは、強い生物活性と高い選択性を有しているだけでなく、経口投与が可能な物質であることがわかっています。

なお、上記のマイルストーンフィーは当社の売上高に計上されますが、その金額については、ノバルティス社との契約及び当社の今後の営業政策における他の製薬企業との関係から非開示とさせていただきます。

【ペプチドリーム株式会社 常務取締役 リード・パトリック及び取締役研究開発部長 舛屋圭一のコメント】

「ノバルティス社との創薬共同研究開発において見出された特殊環状ペプチドが、強い生物活性と高い選択性を有するだけではなく、経口投与可能であることに非常に興奮しております。

今回のマイルストーン達成により、当社独自のPDPSは、①従来の方法・技術ではヒット化合物を同定することや結合部位を発見することが困難なターゲットに対しても、強い生物活性と高い選択性を有する特殊ペプチドを創製することができ、②さらに経口投与を可能とする最適化をなし得る革新性を有するシステムであることを示すことができました。

この素晴らしい結果は、両社の優れた研究チームにより成し遂げられたものであり、プロジェクトのさらなる進捗とそれに伴う近い将来の公表を楽しみにしております。」

過去６年間に、当社は多くの世界的製薬企業（米AMGEN社、英AstraZeneca社、米Bristol-Myers-Squibb社、米Genentech社、英GlaxoSmithKline社、仏IPSEN社、米Lilly社、米Merck社、スイスNOVARTIS社、仏Sanofi社、旭化成ファーマ株式会社、杏林

製薬株式会社、塩野義製薬株式会社、第一三共株式会社、田辺三菱製薬株式会社、帝人ファーマ株式会社）との創薬研究開発契約を結び、戦略的共同研究開発を行ってきました。さらに、米Bristol-Myers-Squibb社、スイスNOVARTIS社、米Lilly社及び米Genentech社に対しては、当社独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS の非独占的なライセンス許諾（技術ライセンス契約）を実施しております。

【ペプチドリーム株式会社について】

ペプチドリーム株式会社は、「日本発、世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という現社長窪田と現社外取締役菅（東京大学大学院教授）の共通の夢から、平成 18 年 7 月に設立されました。独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS(Peptide Discovery Platform System)を用いて、極めて広範囲にわたる特殊ペプチドを多数（数兆種類）合成し、高速な評価を可能にすることで、創薬において重要なヒット化合物の創製、リード化合物の選択、並びにファーマコフォアの理解を極めて簡便に、かつ、効率的に行えるようにしました。ペプチドリーム株式会社は、特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでおります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】
ペプチドリーム株式会社　経営管理部　関根
TEL：03-3485-7707